

『まいこばなし』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。
スパークスの日本株の情報発信レポート



第29号(2010年1月4日)



新年明けましておめでとうございます
謹んで新年のお慶びを申し上げます



「優れたマネジメントは現場主義」

世界的な不況により低迷していた企業業績も、各国の政策による需要の喚起や企業の経費削減により来期は大幅に改善することが予想されます。スパークスは徹底したボトムアップ・リサーチで現場主義を貫き、今年も優良企業の発掘に努めていきたいと考えております。

今回は、「**優秀な経営者は現場主義を徹底している**」と題し、いくつかの事例を挙げたいと思います。



電子部品大手N社

同社は、M&Aを数多く手掛け、買収した会社をことごとく再生させてきました。同社社長は、買収先企業の従業員に直接会い、考えを一人一人にしっかりと伝えています。その結果、同社は、この不況期でも利益の落ち込みを最小限に留め、来期には過去最高益が視野に入るほど業績が急回復しています。

社長自身が直接想いを伝えるという地道な努力が、M&Aという大きな事業の成功に結び付いています。



国内最大級の入園者を誇るテーマパーク大手O社

同社の会長は、時間があると園内を視察し、アトラクション内での入園者の反応や従業員の対応をチェックし、会議でそれを取り上げ、その後サービスの向上に活かしています。その結果、顧客満足度は常に高い水準にあり、デフレ下でも入園料を下げずに高水準の入園者数をキープしております。2012年3月期には過去最高益の更新が予想されています。

会長自らが一番現場に近い企業です。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『まいこばなし』

スパークスの日本株の情報発信レポート

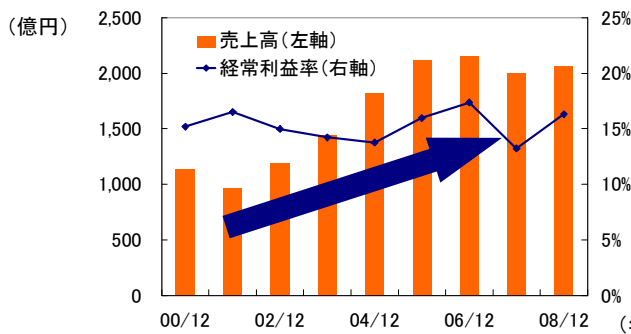


塩ビ・シリコンウエハー最大手のS社

同社は、住宅資材に使われる典型的な汎用樹脂である塩化ビニル樹脂メーカー大手です。同社社長のK氏は、80歳を超えるご高齢ながら、朝早くから会社に出勤され、現場から上がって来たデータや販売状況を聞き、自ら陣頭指揮をとっておられます。

その代表例として挙げられるのが、米国塩ビの製造販売子会社A社です。市況に左右されやすい製品を扱いながら同社は2000年以降、二桁の経常利益率を維持しています。(図1参照)特筆すべきは米国の住宅着工が大幅に減少する中、新工場を立ち上げたにもかかわらず、昨年度も二桁の経常利益率を確保している点です。その背景には、K社長の**現場を知り尽くした卓越した経営判断**があります。K社長は、A社から来る一日の営業動向に関する報告を毎朝(米国時間夕方)受けているそうです。その際、工場から荷を積んで出て行くホッパーカー(塩ビを積むバラ積み列車。通常、積荷が使用されるまで販売先に留め置かれる。)の台数と、戻って来る空の台数から米国内の塩ビ需要の変化をいち早く掴み、翌日以降の販売先や販売価格、及び輸出先などを細かく指示するそうです。このように現場主義を徹底し、日本にいながら現場の状況を把握することにより、A社は迅速にK社長の経営判断を反映し、好業績を維持しております。

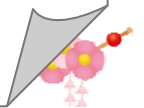
図1) A社 業績推移 (2000/12~2008/12)



出所: 野村證券金融経済研究所

上記のように、厳しい環境の中でも現場主義を徹底して優れたマネジメントを行っている企業は業績を拡大しております。今後も、徹底したボトムアップ・リサーチで優良な企業を発掘してまいります。

※上記はあくまでも当コラムへの理解を深めていただくための参考資料であり、特定の有価証券を推奨しているものではありません。※当コラムは執筆者の見解が含まれている場合があります、スパークス・アセット・マネジメント株式会社の見解と異なることがあります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。